

SHARP

シャープ社友会

栃木支部

2004/5

総会号(第14号)

日光

栃木

発行責任者
浦川正司



『湖畔の鯉のぼり』 写真撮影 只友将弘氏 (会員番号2026)

タイトル： 紺碧の空に、燦々と輝く日光、緑豊かな大地。自然に恵まれた栃木をシンボルします。と、同時に当地を代表する観光名所“日光”を顕わします。

カラーコンセプト： 日光の赤 (R)、栃木の緑 (G)、バックの青 (B) は、カラーテレビの信号の、R・G・Bをイメージし、AVシステム事業本部のルーツを象徴します。同時に、グリーンは社友会のシンボルカラーでもあります。

第十六回栃木支部総会を迎えて 会長 幸 實



社友会の皆様、本年も早いもので約半年が過ぎました。皆様には、お健やかに
お過ごしのことと存じ上げます。昨年には
総会にも出席させて戴き、親しく皆様
とお会いが出来た上、皆様からの温かい
おもてなしを頂戴いたし、誠にありがと
うございました。改めて御礼申し上げます。

社友会員数も毎年大幅に増加した結
果、単に個人的な集まり、或いは、クラ
ブ活動という域は勿論、更に超えて、地
域社会とも連携を保って、多くの文化的
活動に参画する体制になってきました。
大変に有難いことだと思っております。
さらに、世界に目を向けると、戦後の
日本は「平和、平和」と唱えて過

参りましたが、ここに来て、中東情勢や
北朝鮮などの問題が浮上してきて、「平
和一本槍」では解決し難い状況になつて
きたと感じております。私達「老人」は
「戦争、敗戦、平和」の時代を過
参りました。若い人には「平和」しか経
験がありません。若い人から「年金」を
戴いているお返しに「戦争と平和」の遺
産を正しく伝えられるような文化的手法
はないものかと考えたりしていますが、
妙案が出てきません。

昨年の総会で申し上げました「三重県
亀山工場」も、昨年には、テレビは中国
と三重に移ってしまうのではないかと
いう世相でしたが、液晶は、日に日にマス
コミの話題になるようになり、テレビ、
経済紙や週刊誌でも取り上げられてお
りますので、皆様充分ご承知のことと存じ
ます。今後まだまだ大きな時代の変化の
うねりが来るようです。

東洋経済紙の中で、町田社長が述べて
おりますように、「今の液晶テレビの生
産方式は2〜3年が過ぎる頃から競争激
化で採算が悪化するだろう。今後、白物
家電、AV分野を、環境、健康の切り口

でオンリーワンにする。そのためには、違
つた分野でのキーデバイスが必要になる。
そこで成熟商品がある日突然、成長商品に
変わる事が出来る。今、皆の期待するデ
ジタル家電は、それほど有望なものかどう
か疑問を感じます。」と。

私もこのお話には、シャープらしい将来
が見え隠れしていることを強く感じます。
この路線の中に、必ずシャープ全員の努力
による「栃木工場復活」のシナリオが組み
込まれているように思います。

尚、社友会員の亀山液晶工場見学につ
いては、午前中には、団体や報道機関等に
山工場披露会があつて、その午後一番の見
学者として受け入れて戴いたものです。社
長、副社長から、社友会の皆様が開発され
た液晶技術とテレビ技術を受け継いでこの
ように花開かせましたと、ご報告するには、
一番適した人々であると言われたそうです。

今後も栃木社友会の益々のご発展を祈念
して、祝辞とさせて戴きます。

記念写真

栃木支部長

浦川正司

時の流れは速く、希望に溢れた初春、新年賀詞交換会が昨日のように感じられますが、現実には桜の花も終わり、鯉のぼりも過ぎて、梅雨を目前にする前半を通過しようとしています。

当支部も、会員数二百三十名を超える世帯となりました。前号でお話しいたしましたとおり、今年は飛躍を期待する年であり、各位がそれぞれに三猿の格言を前進・理解して組織の発展に御尽力下さることを、願望致します。

記念写真を残そう



人間も還暦を過ぎると、自分自身で感じる度合いの差こそあれ、世に言う老人に近づきつつあると実感せざるを得ません。体力・精神力ともに若い者に負けないと思っている人も多いでしょうが、そう思うこと

自体が老いの始まりともいえません。何はともあれ人生の楽しいこと、苦しいこと、嬉しいこと、悲しいことを経験し過ぎてきた今までの年月よりも、未知の残された年月の方が少ないのは否定する事の出来ない事実であります。

「一寸先は闇」と言う諺があります。一般的に言って我々は既に人生の大半は終って、地上の卒業式をそれぞれ幾度と無く経験しその都度、記念写真を撮り残しています。この写真は、金銀財宝にも代え難き個人にとつての宝物です。

想い出は繰り返し思い浮かべる事は出来ても、現実には二度と戻れぬ、時・場所・ふれ逢い・なのです。夫れだからこそ今の自分を良くみつめ記念になることを数多く作り出し写真に残したいと願う者です。

私達は年々歳を重ねて行き、昔の時代が懐かしく皆さんとの対話・談笑が一番の健康薬と思います。その折りに撮る記念写真こそ長寿階段の第一歩と思えます。

組織活動をご理解いただき、企画さ

れます行事内容も全てが充分満足戴ける物でない面も有ると思いますが、各世話人・幹事さんが大変苦勞され立案し、参加者数をアップしたいと頑張つて居られます事を再度注視してください。

楽しい地上の階段は何段有るか知らないが、皆さんと共に和やかに一段・一段登つていき、最上段に登り詰めたときは、地上の卒業式・そして天上国の入学式で、今は亡き先輩達がカメラを構えて、お出迎えしてくださり天上国の記念写真を撮影して下さいます。

人は何を支えに

何を励みに

生きるのか

申年で駆け登り・飛びはね、各位の英智で更なる前進が図られますことを祈念し、ご支援ご協力を重ねて御願ひ申し上げます。

新組織で

デジタルAV事業の大飛躍を

AVシステム事業本部

総務部長

小林 昭司



社友会栃木支部の皆様には日ごろからAV製品をご愛顧いただき、さらに栃木事業所のおさまざまな事業活動にご支援、ご配慮いただきまして心より感謝申し上げます。

さて、二〇〇四年度をスタートするにあたり四月一日付で思い切った組織改革を行いました。液晶デジタルシステム事業部（大型液晶テレビ）、映像デジタルシステム事業部（中小型液晶テレビ）

び、CRTテレビ、リアプロ、プロジェクト等）、デジタルメディア事業部（DVDレコーダー、モバイルカム、

モバイル放送関連商品、ホームシアターオーディオ、MD、ポータブルオーディオ）の三事業部でデジタル情報家電時代にふさわしい新しい商品作りに挑戦して参ります。昨年第三・四半期から顕著になった激しい二人勝ちシャープ倒し、の猛攻に先手必勝の戦略で挑み、国内はもとより、グローバルな規模での熾烈な生き残り競争に打ち勝つてまいります。長年の課題であったオーディオ（A）とビジュアル（V）の

本格的な融合を図り新しいデジタル商品を世界に向け発信して行くために旧オーディオ事業部の一部の方々に栃木に移動して頂くことになりました。初めて転勤する方も多く期待とともに不安、余計な軋轢が心配されます。早く

なじみ、スムーズにお互いが溶け込めるように暖かいご配慮、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年度は、オンリーワン経営戦略をすすめ、地上デジタル放送対応の液晶テレビAQUOSや携帯電話など特長商品とデバイス事業の拡大、そして亀山工場、三重第3工場の展開など積極的な事業活動とその成果である好業績が良い回転をしました。週間ダイヤモンド誌の「企業好感度140社ランキング」で、総合、5位。社員の能力、4位、日本経済新聞社の「企業イメージ調査」技術力に優れた企業7位。自己改革に積極的な企業8位、また同社調査の「経営者20氏が選ぶ有望銘柄ランキング」トヨタ社に次ぎ2位。その他日系エレクトロニクス誌の、研究開発力が伸びた国内メーカー、としてキャノン社と並び1位、日系産業「働きやすさ」

調査(主要319社)での総合17位、就職情報誌「学情」就職先人気ランキングで理系6位、文系35位総合14位など十分誇りをもって仕事ができる環境にあります。

一月二十八日、新たに亀山モデルとしてのハイビジョン対応液晶テレビAQUOS(Gシリーズ)がデビューしました。デジタルハイビジョン対応のハードディスク内蔵DVDレコーダーのデビューと併せ、デジタルの世界が大きく広がります。さらにワイドテレビに対応した高画質ワイドの液晶デジタルビデオカメラ、AQUOSやAV専門誌「HiVi」でグランプリを受賞した「シアタープロジェクトエクター」にふさわしい1ビットデジタルオーディオシステム技術搭載の「ホームシアターシステム」も浸透しはじめました。

歴史に新たに輝ける足跡をつくりました。生産部門は小集団活動も活発化させながら技術部門とともに新たな発想で「ものづくり」を極める生産革新をめざして、地元採用新卒社員も加わり新たな力強い活動を始めています。本年度は企業、各事業所に一層高いレベルのCSR(企業の社会的責任)や環境配慮が求められてきます。昨年からの優良企業の凋落、工場災害、人権問題(パワーハラ、セクハラ)、労災(長時間労働含む)、安全衛生問題などさまざまな問題が社会問題化してまいりました。工場管理(安全衛生含む)、社員一人一人の仕事の進め方・管理、人材の育成・開発、組織の革新のほか、関係取引各社、関係者などの動きが影響を与える時代となっております。この流れの中で、本年度は地域貢献活動を見える活動にし、定着させる第一歩として、サマーフェスティバルの拡充のほか、まず地域清掃活動を中心に「一人年3回以上のボランティア活動への計画的な参加」を目標とすることをAV経営会議で確認し、推進することとなりました。

グローバルな市場経済の中ではいままでの常識やしきたり、システム、考え方が通用しない場面や事象が多々起こることが予見されます。

工場は古く、社員はますます高齢となりますが、今以上に頑張り、努力、勉強する社員で、しっかりと状況・情報を感じ、チャンスを見つけるとともに、起こりうるリスクを嗅ぎつけ、好調AQUOSに奢ることなく、地に足を着けた積極的かつ誠実な活動を行い、かつてのスピードを取り戻します。会社組織のみならず、貴支部、労働組合栃木支部、地域社会の皆様から厳しいご指導とご鞭撻を仰ぎながら進めてまいりますので、これまで以上のご協力とご厚情のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、シャープ社友会栃木支部のますますのご発展と会員皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

第十六回総会のご挨拶

シャープ労働組合栃木支部

執行委員長

印南幸裕

社友会恒例の総会の開催、大変おめでとございます。

日ごろは浦川支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に對しまして、ご理解とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

さて、本年はシャープの社運をかけた亀山工場が一月に本格稼動いたしました。この工場は、液晶のパネル生産からテレビの商品までの一貫生産工場です。現在矢板工場では、中小型の液晶テレビの生産に加え、亀山工場の商品開発・生産指導など大変繁忙感のある状況が続いています。この状況は当分続くことが予想さ



れますが、矢板工場では当面、地上波デジタル放送の商品や液晶テレビの高品質化の対応などでシャープのブランドイメージを高めつつ、雇用を守っていくことを考えています。引き続き諸先輩の皆様には、シャープの仲間の一員としてご支援を頂きたいと存じます。

シャープ社友会栃木支部の益々の発展と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

矢板市議会議員

中村びやのよ

社友会の皆さまには、益々お元気で多方面においてご活躍の事、心よりお喜びを申し上げます。また、日頃より組織内議員の活動に對しまして、ご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私も皆様方のご支援を賜り、矢板市議会に送って頂きました一年を迎えようとしています。この間四回の一般質問などを通し『夢と笑顔のまちづくり』の実現を目指し頑張っております。この三月議会では、合併における新し

いまちづくりに取り組みむ為の人材の活用や、子育て支援の一環として乳幼児医療費助成手続の簡略化（償還方式から自動償還方式や現物給付方式への変更）などに取り組みました。

乳幼児医療費助成手続の簡略化については、現物給付方式が望ましいと考えますが、国からのペナルティーも有る事から、自動償還方式の実現に向けて更に努力をして参ります。

合併については、矢板市と塩谷町の一市一町で進めるなか多くの課題があり、思うように進んでいませんが、新しいまちづくりに両市町民が一体で取り組めるように、努力をして参ります。

今後も引き続き、子供たちの世代に託せる住みよい矢板市を目指し頑張っております。

皆様方の更なる叱咤激励、ご意見や情報提供を賜ります様お願い申し上げます。



亀山工場見学記

この日四月二十一日は午前中披露会が行われた後に、工場の操業開始以来初めての一般公開と言うことで、報道関係と工場建設関係者の見学会が有った為、我々の工場到着は2時厳守。時間調整の為に亀山城の多門櫓内部特別参観と亀山市歴史博物館見学で時間調整。



昨年4月に自治体との間に工場建設の調印式をし、9月に工場の起工式をしてから僅か4ヵ月後には操業を開始すると言う驚異的な突貫工事にも関わらず、液晶パネルの歩留まり率は初期で50%、現在は80%にまで到達品質の良さには説明を聞いていたただただ驚きの一言。工場が新しいだけでなく生産される液晶パネルは亀山工場の為に新しく設計しなおした物で、特に色彩では赤色が従来のパネルと違って放送局の標準色温度と同じの為赤色がより鮮やかになっていたりとか。其の画質の良さが評判を呼んで電気店に購入に来るお客さんの中には「亀山のテレビを下さい。」と言う指名買いの客も居るほどの事。

副社長の説明の後工場見学に入った。これは事前に予想出来た事であるが、見学出来た所はテレビの組立部門だけ。後日の新聞記事によると午前中の見学会でも液晶パネル製造工場は公開しなかったようである。

勿論、液晶テレビは液晶パネルだけで出来上がるものではなく、長年矢板の工場で磨きをかけたテレビの設計・生産のノウハウが有つての「亀山テレビ」で有り、事実見学の途中で矢板工場からの多くの転勤者に会うことが出来た。工場見学で一番驚かされたのは、バスで工場の裏側に回った時の光景で、其れはまるで化学工場のような。

西村 光二



液晶パネルの生産の為に一日に使用する水の量は二千トン。しかし、其の95%は浄水して循環使用しているとの事。流石は世界一の最新式液晶工場と感心した次第。

シヤモニー スキー旅行 前野雄

一、まえがき

定年退職後心ゆくまでスキーを楽しもうと海外スキー旅行を行っています。今回は二回目で一月三十一日から二月七日にかけてフランスのシヤモニーに行ってきました。海外スキー場の事情などを含め旅行記を紹介します。

参加者はスキー仲間の田村栄さん、粉川昌三さん、前野雄二の三名。

田村さんは二〇〇〇年、粉川さんと私は二〇〇一年に定年となり、次の年にはカナダのウィスラーに二週間行ってきました。

二〇〇三年のシーズンはお互いに何かと忙しくパスしてしまい、今年こそはとヨーロッパの氷河滑降と深雪滑降ができるスケールの大きなシヤモニーに決めました。

二、日本出発よりシヤモニー着

成田を昼ごろ飛び立ち、ウィーン空港で乗り継ぎスイスのジュネーブへ、ここからマイクロバスでシヤモニーへ。

シヤモニー着は現地時間PM一〇時。出発してから一七時間エコノミー症候群なりか

けで到着。ジュネーブの入国審査はパスポートを見るだけ、スイス入国のスタンプも押さないしコンピュータ管理のための入力もしない。ただし見るとスタンプを押している入国者も居り全部の国がノーチェックではないようです。

そしてマイクロバスで高速道路を走りフランス

に、イミグレの建物はあるが人がいない。車も減速し通り抜けるだけ。最近のヨーロッパの国境は非常にオープンになっていました。

三、シヤモニー一日目二日目

一日目はシヤモニー谷より西側のスキー場をグレンデガイドに案内してもらおう。

標高二〇〇〇m付近から二五〇〇mにかけてブレバン、レーゾーシュ、フレジュールと三つのスキー場が横に並んでおり共通リフト券でロープウェイからリフト、街中を走るバスまで全てOK。シヤモニーの街は標高一〇〇〇mにあり、街からスキー場まではロープウェイで上る。

前日の一七時間の移動疲れと時差ぼけの睡眠不足で、足が痙攣し始め何とかついて行くだけ。

二日目は一日目のスキー場を軽く滑り、三日目に予定している氷河滑降に備える。

四、三日目

いよいよシヤモニーに来た最大の目的バレーブランシュ（日本語では白い谷）を滑る。

シヤモニー谷の東側にあるアルプス最高峰モンブラン四八〇七mの前峰三八四二mのエグリュドミディの北東から始まる約二〇kmの氷河滑降のコースです。ここに入るにはガイドの同行が強く勧められていて山岳ガイドをお願いしました。

まずロープウェイ二本乗り継いでエグリュドミディの頂上へ。

ここにはレストランなどがあり、アルプス見

物の観光客も気楽に三八〇〇mに上がってきます。

ここで麓で身にまとったハーネスとカラビナにザイルを結びガイドがザイルを確保しながら約二〇〇mの急斜面をスキーを担いで下る。普通は青氷だが数日前に降った雪がありアイゼンは付けずリュックに入れたまま、ここで落ちたら一巻の終わりかと慎重に降りる。

一気に三八〇〇mまで来たため高山病を心配したが特に問題なく、息切れが早く回復に時間がかかるのはやはり空気の薄さのためか、標高の高さを実感しました。



氷河は平坦で緩やかな斜面、雪面状態はウインドクラフトしスキーが潜り込まない程度に固まった上に数センチ雪がある状態で滑るのには何も問題ないが、期待していた深雪は無く、あまり面白くない。

スキーを履いて氷河観光が目的であり、こういうものかと納得。
雪面がこのように硬くなり、クレバスにブリッジがかかる氷河滑降が可能になり、通常一月中旬前後とのことです。



クレバス

温暖化のためアルプスの雪が少なくなっているのは、最近ニュースで取り上げられています。この氷河も数年前にはクレバスが隠れず滑降ができなくなるのでは、と言われています。
途中のレストラン（山小屋のような）で食事し、ゆっくり景色見物や写真を撮りながら四時間くらいで氷河の終点。ここは登山鉄道の駅があり、これに乗ってシヤモニーまで戻る。
三時ごろシヤモニーに着

五、四日目、五日目

四日目シヤモニーの東側にあるグランモンテに行く。

一度このスキー場も滑ってみよう、と出かけたがとんでもない、すばらしいところ。

ロープウェイ一本乗って標高一九七〇mのゲレ

ンデヘニ、三本リフトに乗って遊び、さらに上に伸びているロープウェイでグランモンテ頂上三一七〇mへ、標高差一三〇〇mを一気に上る。山頂から東北側にコース標識がある斜面を下る。ゲレンデではないオフピステであるが雪質、斜面ともにシヤモニー一番、少し下るとアージエンチエーレ氷河の荒々しい氷塊が右手に見える。
氷河に沿って景色を楽しみながら滑るとロープウェイの乗り場に到着する。
レストランのベランダで日光浴しながら昼食をとりもう一本滑ろうとグランモンテ頂上へ、ここから麓の一二〇〇mまで標高差二〇〇〇mを滑り終え、本日は終了。



アージエンチエーレ氷河

五日目、最後に残ったスキー場、ルートクー
ルへ出かける。なだらかな斜面がどこまでも広がる広大なスキー場、上まで上がったが面白くないので退散、昨日滑ったグランモンテに再度移動。頂上から一本すべりこれでシヤモニー

スキーは終了。

六、シヤモニー市街

有名なスキーリゾートであり大変賑わっています。

お勧めは生牡蠣、レストランでも食べられるが高価、それよりもオイスターバーがありグラスワイン片手に立つたまま食べる生牡蠣が美味しい。一個一ユーロ。

今回の宿泊はコンドミニアムを使用。設備は余りよろしくない。TV無し、電子レンジ無し、食器洗い機無し、衣類洗濯機無し（一階に共用あり）、先回のウイスキーではこれらが完備していた。衣類洗濯機はスキー旅行で滞在するのに必需で外部のコインランドリーを毎日利用していた。

七、あとがき

今回は一週間ではちよつと物足りず、延泊を考えたがヨーロッパのリゾート地では、このような施設は一週間単位での予約になり、さらに一週間の延泊は長すぎるため断念。

その点カナダは一日の延泊でもOKでした。現地での費用を参考までに記載します。

貸しスキー 五日間 一一三ユーロ

山岳ガイド 一人 九〇ユーロ

リフト代 五日間 一四八ユーロ

一週間滞在し八万円をユーロに換えて右の費用その他と土産が買える程度の出費。

これ以外は日本の旅行社のツアー費用。

行きと同じようにくたくたになり帰国しましたが、数日するとすぐに来年はどこへ行く、などと話をしています。

もしシヤモニーに行かれる計画が有りましたら何なりとお問い合わせ下さい。何か役に立つ事があるかもしれません。

人が生きる

人が生きると言うことは、一番大切なことである。人として生まれてきて死を迎えると、言う事は自然のあり方ではないでしょうか。

全ての生き物は生と死を繰り返しながら生存しているのです。人が生きると言うことは、他の生物と違うのは人には知恵も知識もある事です。その間は人それぞれ、その生き方が有ると思えますが、人として生まれて死を迎えるまでに何をしようか、どう生きたかと言うことで一人一人の価値観が違ふと思うがせいぜい生きても百歳である。その間に人は何を求めどの様に生きたのかと言うことで人間の生き方が有るのではないかと思います。

この短い人生の中で人として最低の生活をする為には衣・食・住が有り、この三点が満足すれば後は人としてどの様に生きるかと言うことになります。その中でどの様な生き方をするかは個人個人の考え方は十人十色であるが、私は現在の生き方に満足している人間の一人であり、人は一人で生きていますと思っています。人は一人ではないと思えますが、人は一人では生きられないのです。様々な人との出会いに係わって生きています。

私もその中の一人の人間として生かされているのだと思うのですから、この短い人生を精一杯生き多くの人と係わって生きる幸せを感じながら、一日一日を大事に暮らせば人間として最高で有り幸せで有ると思えます。その為には自分を捨てて人の為に生きられれば良い、それは人の為ではなく強いて言えば自分の為で有ります。

私もこの世に生まれてきて六十数年を生きて振り返ったときに特に思うことは、一生は短い色々な苦難を乗り越えて生きるという事がいかに大事で有りそれを乗り越えるか乗り越えられないかで人生の生き方が、変わるか変わらないかが決まる。自分の為に生きるか人の為に生きるかは、その人の考え方で左右されると思いますが、これは人間として自然に生きるか不自然に生きるかの違いであつて生き方としておなじであります。

私も定年を迎えてから、妻を亡くして振り返った時、自分が歩んで来た道が今現在になつて生きている事を思う時に、それが自然の流れの中に人間は生かされているのだと思うようになりました。これからは色々な人との出逢いの中で短い人生を楽しみながら、多少人には迷惑

鈴木常忠

を掛けるとは思いますが、自分の人生を迷いなく一歩一歩確実に前を向いて進んでいけば幸せであると感じております。



孫のような友達、娘のような友達、空手道を通じての仲間との人間関係を通して、人と人との係わりを持ちながら生きていけると言う事は自分にとつては最高の生き方であり、最高の幸せであります。人それぞれに生き方は有ると思えますが、自分の好きな事を通して人を一歩でも半歩でも前進をさせ育てる事が出来るという事は、今の自分にとつては一生の生き甲斐であり人としての生き方であり、ます。

定年は第二第三の人生で有り人間としての仕上げで有ると思えます。

栃木支部16年度行事予定表

栃木支部事務局

※印 実施日未定

月	社友会各行事	各クラブ活動
平成16年 4月	14日 定例幹事会 「日光」編集会議 19日 本部定例総会	2日 メビウス定例会 4日 ゴルフ研修会矢板カントリー 5日 カメラ撮影会 8日 歩こう会
5月	18日 定例幹事会 「日光」編集会議 30日 支部定例総会 会報「日光」総会号発行	7日 メビウス定例会 中旬 ゴルフコンペ開催 19日 カメラ定例会
6月	21日 定例幹事会 「日光」編集会議	7日 メビウス定例会 中旬 ゴルフ研修会 16日 カメラ撮影会 27日 歩こう会
7月	21日 定例幹事会 「日光」編集会議 下旬 シャープサマーフェスティバル開催	5日 メビウス定例会 中旬 ゴルフコンペ開催 21日 カメラ定例会
8月	23日 定例幹事会 「日光」編集会議	2日 メビウス定例会 中旬 ゴルフ研修会 18日 写真作品展 ※ 歩こう会
9月	21日 定例幹事会 「日光」編集会議	6日 メビウス定例会 中旬 ゴルフコンペ開催 15日 カメラ撮影会
10月	18日 定例幹事会 「日光」編集会議 下旬 秋季懇親旅行	4日 メビウス定例会 中旬 ゴルフ研修会 20日 カメラ定例会 ※ 歩こう会
11月	15日 定例幹事会 「日光」編集会議	8日 メビウス定例会 中旬 ゴルフコンペ開催 17日 カメラ撮影会
12月	20日 定例幹事会 「日光」編集会議	6日 メビウス定例会 中旬 ゴルフ研修会 15日 カメラ定例会
平成17年 1月	初旬 AVシステム事業本部年頭祈願祭 17日 定例幹事会 「日光」編集会議	24日 メビウス定例会 ※ ゴルフ未定 19日 カメラ撮影会
2月	初旬 新春賀詞交換会 21日 定例幹事会 「日光」編集会議	7日 メビウス定例会 ※ ゴルフ未定 16日 カメラ定例会
3月	22日 定例幹事会 「日光」編集会議	7日 メビウス定例会 ※ ゴルフ未定 16日 写真作品展 ※ 歩こう会

私の徒然草

三友宏章

つれづれなるままに、

日くらし、硯にむかひて、

心に移りゆくよしなし事を

そこはかとなく書きつくれば、

あやしうこそものぐるほしけれ。

前回に引き続き、湾岸戦争以降のサダム・フセインについて、述べさせていただきます。

題して。

続『サダム・フセイン物語』

八、湾岸戦争以後のフセイン

湾岸戦争でフセインの敗北が明らかとなった直後から北部のタルト人や南部のイスラム教シーア派の住民を中心とする暴動が頻発した。しかし、ほぼ一カ月でフセインに鎮圧され寧ろ彼の権力基盤が強化されるようなものとなった。

これは一説には、アメリカがタルト人に対する支援を打ち切るなど、まるで二階に上がったタルト人の梯子を降ろしたような行動を取ったからでもある。後に、タルト人など反体制派の人々は、アメリカに対して深い疑念を生む素地がここにある。

湾岸戦争後、フセインは巧みに、国民の不満や怒りを米国に向けさせ、自分の政権維持に努

めてきた。国内に張り巡らされた密告網もあまり綻びをみせなかった。

査察については、フセインは、国連の対イラク制裁が解除されない限りそれを認めないとの立場をとった。そのため、九八年にアメリカ議会はイラクの反体制派に対する資金支援を行う法案を採択した。翌年には、支援七グループを公表し、種々の援助を行っている。但し、反体制派の内部の纏まりが悪く今ひとつ成果が上がらなかった。その後、漸く、タルト愛国同盟(PUK)とタルト民主党(KDP)が対立関係を解消したというが、果たして、フセイン政権崩壊後も仲良くやっていけるかどうか難しい問題である。



外交面では、フセインは孤立を避けるために、周辺国のエジプトやシリアなどと自由貿易協定を締結したり、孤立回避に躍起であった。特に、

フセインは隣国のヨルダンやシリアには割安の原油を供給するなど関係を深めた。したがって、アメリカが一方的にイラク攻撃に踏み切った場合、湾岸戦争の頃のように、アラブ諸国が反イラクという一つの旗に集合することは難しかった。ブッシュ大統領はイラクを北朝鮮とイランとともに、「悪の枢軸国」と名指した。また、ワシントンポスト紙は、ブッシュ大統領はCIAにフセイン暗殺を容認したとの報道がなされた。アメリカのフライジャー大統領報道官は、「一発の銃弾の費用をイラク国民が自分で負担してくれるならかなり安上がりだ」などと、あからさまにイラク国民にフセイン政権の転覆に立ち上がるよう促した。しかし、一方で、フセインはこのような暗殺の手を逃れるために、何人かの替え玉を用意しているとの情報もあった。ある専門の法医学者に四五〇枚のフセインの写真を分析させたところ、少なくとも、三人の影武者がいるとの結論が得られている。大量破壊兵器の査察に対しては、湾岸戦争後、査察員に対する威嚇射撃によって査察を妨害したり、アメリカ人の査察官の入国を拒否するなどのいやがらせがなされた。そのため、この査察は、九八年十二月の米英の対イラク攻撃以来、国連大量破壊兵器廃棄特別委員会の査察チームが引き揚げ、それは停止状態にあった。

ところが、九八年、国連安保理は新たな査察機関である国連監視検証査察委員会を設置し、翌年、ブリクス前IAEA事務局長を委員長に任命し、新たな査察への意欲を示した。それ以前にはアナン国連事務総長の大量破壊兵器査察の要請を蹴ったフセインも、流石、今度ばかりは、米軍の軍事進攻と我が身の危険を感じ、この国連の査察団が入ることになったのである。

湾岸戦争の時も、例えば、中曽根元首相がフセインに会い、「日本がアメリカと戦争を行ったのは、両国にパーセプション・ギャップが存在し、その結果、太平洋戦争に突入してしまっただけで、フセインも慎重を期した方が良かった。」とのアドバイスをした。また、当時、デクエアル元国連事務総長やプリマコフ元連邦会議議長など旧ソ連の要人も含め色々な人の説得も功を奏せず湾岸戦争に突入してしまっただけで、アメリカの元国務長官のキッシンジャー氏も「人間の歴史は思惑の読み違いの連続である」と喝破している。今回も双方の思い違いから戦争に突き進んで行った。

ブッシュ大統領の方針は始めに結論ありきで後は如何に国際的な連帯の形を整えるだけとも見える。しかし、米軍という強大な軍事力によってフセイン政権を転覆させるという軍事的に合理的なことも、フセイン政権が崩壊した後の中東地域の力の空白地帯をどうするかという地政学的なデザインが明確に描かれていない限り、それは政治的に合理的なものになるとは限らない。つまり、米国一國でフセインを成敗しても、その後のフォロー、つまり、国連という国際的な協力の場や周辺のアラブ諸国の支持が得られない限り、ブッシュ大統領の一人よがりにもなりかねない危険性はある。

九、フセイン逃亡劇の終幕

フセイン元イラク大統領の逃亡劇の終幕は、はじめなものだった。日干しレンガの小屋。その付近の地下に掘った小さな穴に潜んでいたところを、「ネズミのように捕まった」(米軍司令官)という。現地時間十三日夜、米軍が展開し

た「赤い夜明け」作戦でイラク駐留米軍のサンチェス司令官、作戦を遂行した米陸軍第四歩兵師団のオディエルノ少将によると、作戦は次のようなものだった。

元大統領の所在に関する「決定的な」情報もたらされたのは十三日午前一時五十分(日本時間同日午後四時五十分)ごろ。元大統領の生家から数キロしか離れていないアツドールの、二軒の家のどちらかにいるという。アツドールは元大統領の腹心のイブラヒム元革命指導評議会副議長の故郷である。

米軍は、午後六時ごろ、第四歩兵師団第一旅団のヒッキー大佐を指揮官とする六百人の急襲部隊を編成し配置。歩兵のほか機甲部隊、砲兵部隊、航空戦力、特殊部隊を含んでいた。大佐が受けた命令は「サダム・フセインの拘束もしくは殺害」だったが、兵士は標的が元大統領とは知らなかった。

午後八時ごろ、急襲部隊は標的の二軒に踏み込んだが、元大統領はいない。「また空振りか」という雰囲気だった。その時、近くの壁に囲まれた農家から二人の男が走って逃げた。部隊が二人を捕らえた。元大統領の付き添いと分かったのは後のことだ。

元大統領が潜んでいたのは、二部屋しかない日干しレンガ造りの小屋だった。台所では水がたれ流しになっており、ベッドと椅子がある部屋には新しいシャツや靴下などが散乱していた。

念を入れて小屋の近くの地面にあった敷物をはぐと、泥で隠された部分に発砲スチロール製の軽いはめ込みがある。これを外し、深さ二メートル内外、人間一人がやっと横になれる程度の穴に、男がいるのを確認した。午後八時二十六分だった。

男は短銃をひざに置いていたが、撃とうとはせず、何の抵抗もなかった。ひどく戸惑った様子だったが、自分が元大統領であることを認めた。AK47自動小銃二丁と百ドル札で七十五万ドルの現金も見つかった。

フセイン元大統領の捜索で、米軍が特に狙ったのは元大統領の血縁者や同族の関係者、元ボディーガードなど。こうした人々を拘束し、取り調べた。米軍と米中央情報局(CIA)は、ここ十日ほどの間に元大統領の縁せきにあたる「五〜十人」を尋問し、そのうち一人から最後の「決定的な」情報を得たという。

汚れた白いシャツに黒のズボン、長く伸びた髪と灰色のヒゲ。フセイン元大統領の表情には、バグダッド陥落以来、八カ月余りの逃亡生活の疲れが、色濃くにじみ出ている。兵士らが銃を向け、ライトで照らし出した

ながら「おまえは誰だ」と問うと、一瞬の沈黙のあと、男は元大統領であることを認めた。その声には、元大統領としての威厳を示そうとする精いっぱいの意味が込められているようだったという。

元大統領は、医師の求めに素直に口を開いて、健康チェックを受け入れた。米軍当局は、調べにも積極的に対応していると明らかにし、その姿にはかつての「独裁者」の面影はなかったことを強調した。しかし、元大統領は、人物特定のため面会したイラク統治評議会のアドナン・パチャチ議長代行(元外相、イラク独立民主党党首)らの前では、違った様子をみせた。

パチャチ議長代行によると元大統領は「自分は公正かつ、力強い支配者だった」と主張した。パチャチ議長代行らは「何千人ものイ

ラク人の死に責任がある不正な支配者だと反論した」と語った。さらに「(元大統領は)明らかに疲れ、やつれて見えた。しかし、悔いる様子もなく、挑戦的でさえあった」と、元大統領の拘束後の様子を語った。

拘束後のフセインの様子は、全く伝えられていないので、米国で、どのように扱われているか、大量破壊兵器の有無、所在についての取り調べが、どのように行われているか等、知りたいたいものです。

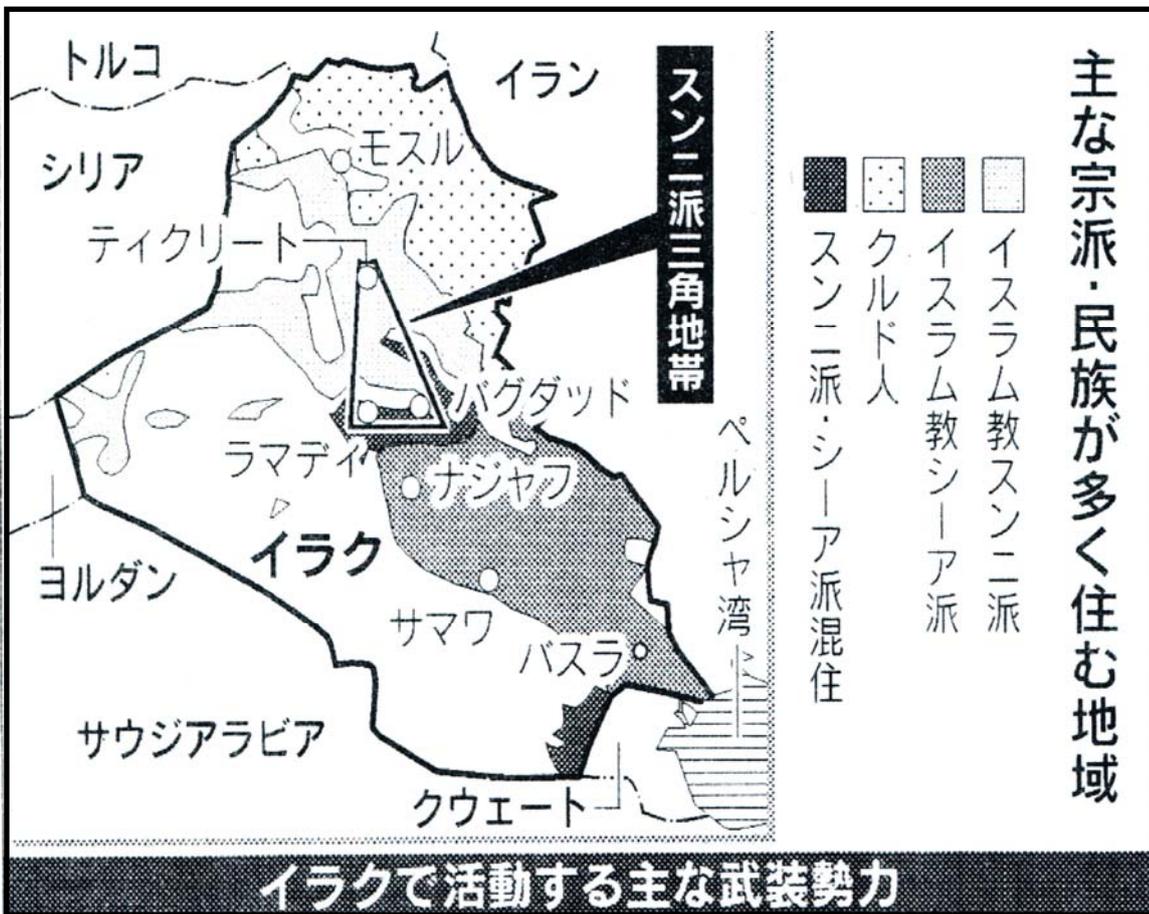
以上で二回にわたった『サダム・フセイン物語』の終了としますが、これで「イラク民主主義国家の誕生」と謂う、ブッシュ大統領の当初の思惑道理に進まないところが、ブッシュさんにとって悩ましい事態であります。

昨年度の総会号(十二号)に於いて『ブッシュ大統領の錯覚』という項目で、フセイン政権崩壊後のイラクの予測をしてみました。やはり雨後の竹の子のように、各部落、各宗派が、我が物顔で、存在感を示すため、反米、反民主化感情むき出しで画策を始めており、米国主導で、民主主義国家建設の準備を進めようとしたもくろみが、見事に崩れ、イラク再建を米国主導から国連主導へ切り替えることを提唱し始めています。

主な反米勢力としては、
 一、イスラム教スンニ派
 旧政権支持者、旧軍人、旧バース党員等で、ファルージャ、ラマデイなどの中北部スンニ派三角地帯と呼ばれている地域で、米軍をねらった爆弾テロ攻撃や産業施設への攻撃。
 サダム・フセイン(フセイン元大統領の親衛隊)

イラク全国地図と主要地域名

ムハンマド軍(バクダッド、モスル)等を
 中心に活動する旧政権支持者) 二、イスラム教シーア派
 対米強行派サドル師支持者により構成さ



れ、中南部地域のシーア派の聖地で、サドル師の私兵軍団であるマハディ軍を中心とした戦闘行為をしている。

又、イスラム教過激派としてマフムード・ハッサニーの民兵もいる。

三、国際テロ組織
アルカイダ活動家、外国からの志願兵等で、イラク全土に於いて、米軍、外国関連施設、シーア派などを狙った自爆テロや暗殺を行っている。

イラク国民イスラム抵抗、アンサールーイスラム、アルーフアルーク隊等がある。以上の様な状況の中、ブッシュ大統領も、やむを得ず米国主導のイラク再建をあきらめ、EU取り込みのために、国連主導に方針転換をした次第です。

これでイラク問題の現在までの、推移経過と分析を終わりますが、この地域の国々の状況を考え、イスラエルとパレスチナの血で血を洗う紛争を考えてみますと、つくづく宗教とは何の為にあるのか、人類に対して、どのような恩恵を与えているのか、といった疑問にぶつかります。

本来宗教は、平和と人々に幸福をもたらしてこそ、その意義があるべきところ、国際紛争により平凡で平和な生活を望むふうの人々のささやかな幸せさえをも奪い、不幸に導き入れる道具として使われる実態になっています。

そこで特に現在問題となっているイスラム教について考えてみました。

イスラム教とは何か

イスラムとは平和・従順・放棄・素直・受諾・純粹・遂行、アラビア語で「al-Islam」平和で

ある事」また「絶対に帰依する事」「一切を上げて、神アッラーに任せ、他人に対して善行を施す事」こそイスラムの真の意味である。

予言者マホメットは五七一年キリスト教時代であったメッカにて出生し、六三二年長逝、メディナに埋葬された。

イスラムは決して新しき信仰を伝えるものでなく経典を有する一神教、即ちユダヤ教、キリスト教の信仰を確認するものに他ならない。コーランはイスラム教の聖典で、マホメットが神(アッラーフ)から直接啓示を受けたと信ずることばを記録したものである。

コーランによると、マホメットは預言者(使徒)であり、神の啓示を受けてそれをアラビア語で説いたことになる。マホメットは自分のことばの一部を神のことばと主張した。このような主張がどうして可能であるのか。多くの箇所でもホメットは『旧約聖書』、『新約聖書』の解説をしている。

ユダヤ教徒やキリスト教徒が『旧約聖書』、『新約聖書』を神のことばと信じているのであれば、『旧約聖書』、『新約聖書』のアラビア語による解説を神のことばと言っても、ユダヤ教徒やキリスト教徒がそれを間違いであるとはいえないであろう。マホメットはこのように考えたようである。しかし、ユダヤ教やキリスト教の真似をしているだけであるといわれるおそれがある。そこで、マホメットは、ユダヤ教徒やキリスト教徒の主張で『旧約聖書』、『新約聖書』に基づいていないと考えたことを指摘し、コーランの中で次のように批判した。

『天と地と、そのあいだにあるものすべてを統治したもうのは、神ご自身。帰るところ

は神のみもとである。

ユダヤ教徒は、「神の子なるエズラ」と言い、キリスト教徒は、「神の子なるキリスト」と言う。これは彼らの口先のことばであり、かつての背信者どものことばにならっているのである。神が彼らを討伐したまえばいいのに。なんと偽りをたどっている者どもであろうか。

同様に三位「体論を批判する。「まことに神は三者のうちの一人」などと言う人々はずでに背信者である。唯一なる神のほかにいかなる神もない。そんなことを言うのをやめないと、信仰にそむく者どもにはかならず痛烈な懲罰がふりかかるであろう。

イエスは、ただの僕(しもべ)の一人にすぎない。われらは、彼に恵みを垂れ、イスラエルの子らへの手本とした。また、天使は女の子であるという見解があったらしいが、慈悲ぶかいお方の僕である天使たちを、彼らは女の子と称している。いったい、それが創造されるどころを彼らは見たとでも言うのか。彼らの証言は記録され、詰問されなければならぬ。』

こうして『旧約聖書』および『新約聖書』を啓典としながら、ユダヤ教およびキリスト教と異なる新たな宗教が誕生した。

これがイスラム教であります。こうして三つの宗教を考えてみると、いずれもユダヤ教を原点として派生してきた教義であり、一つの宗教の宗派にすぎない。その信徒たちが、血で血を洗う争いを繰り返しているのは、神様としては、やるせない限りであろう。

『怒りの日』、『最後の審判の日』もそんなに遠くないのでは、なかるうか。

クラブ・同好会のページ



カメラクラブ



- * 写真の基礎を学びながら、実技を中心に写真技術のレベルアップを図ります。
- * 毎月第三水曜日に、例会又は撮影会を実施します。
- * 年2回程度、作品展を開催します。
- * デジタルカメラもOKです。
- * 初心者も気軽に参加できます。

新入会員歓迎します。幹事 只友 将弘 Tel : 0287-39-6502 携帯 090-3248-7309

メビウスクラブのお便り

☆平成16年度の行事計画

ブロードバンドの普及、インターネットとメールの普及率と利用分野の拡大等により、パソコンが家庭でのデジタル家電として、広く認知され、日常的に他の家電商品と同じように使われる時代に成りました。一方この事に伴うウィルストラブルとセキュリティが重大な社会問題となってきています。このような社会環境の変化に対処して、

平成16年度は、下記の行事を中心に据えて計画を立てております。

- I. ウィルス&セキュリティに対する迅速な対応。
- II. インターネットとメールのよりよい活用と、知識の向上。
- III. パソコンのエラーメッセージとトラブルの解決術。

以上の様なテーマを中心に、朝日新聞社発行の

最新図書を教材として、講座の開催を実施します。

21世紀の時流に乗り遅れないためにも、会員の積極的なご参加をお勧めします。

入会申込先：幹事 三友 宏章

電話：43-1795

ゴルフ同好会

ゴルフ同好会は、会員相互の親睦と健康増進を目的にし、運動不足とストレス解消のため3月～12月まで、計10回の行事を開催しています。コンペは5回、研修会を5回開催し、参加人数も平均24名と増えてきており、和気蕩々で芝生の上を走りまわっています。スコアは気にせず気軽に皆様の参加をお待ちしています。参加される方は下記 幹事まで連絡下さい。



スタート前の記念写真

- ・日 時 4月8日(木)
第11回研修会
- ・場 所 矢板カントリークラブ
- ・参加者 24名

晴れ、低気圧が過ぎ去り天気は良くなったが1日中風が強くて苦戦した。風対策として良い練習になったと思う。

幹事 岡部 隆一
Tel 0287-37-1053

歩こう会

■第24回 茂木の鎌倉山
4月11日(日)晴 参加人員27名



■第23回 足利の両崖山
3月7日(日)晴 参加人員25名



両崖山山頂(足利城跡)梅林の花を満喫

平成16年度 活動計画

囀丞折々の眼替 y 自然に握 1. み、山忠青の蛛力を楽し f?偉康トレッキング仲間を莒つでいます。

No	実施月	行 先
第24回	H16年 4月	茂木町 鎌倉山(栃木百名山) 桜花
第25回	6月	福島県 駒止湿原とヒメサユリの群生地 湿原の花
第26回	8月	奥日光 戦場ヶ原又は中禅寺湖西岸縦走 納涼
第27回	10月	福島県 霊山(りょうぜん) 紅葉
第28回	H17年 3月	田沼町 唐沢山(栃木百名山) 新緑

(注) 基本的には冬季を除く隔月に(年間5~6回)実施。

バスの定員(28名)確保のため社友会員の奥様方の参加も歓迎いたします。

幹事 中村 茂 Tel 0287-44-0097

新入会員のご紹介

- ① 会員番号
- ② 氏名
- ③ 生年月日
- ④ 住所
- ⑤ 電話番号

《メッセージ》



- ① 2813
- ② 磯辺 徹
- ③ 昭和 18年 11月 14日

○三年十一月十四日を持って首都圏統轄営業部で定年退職する事が出来ました。この度社友会栃木支部に入会させて頂き二月は新年会三月にはメビウスクラブ月例会又、ゴルフコンペに参加させて頂きます。社友会一員としてお付き合い頂ければ幸いです。



- ① 2835
- ② 養老 剛
- ③ 昭和 18年 12月 14日

昨年十二月十四日定年退職致しました。在職中は諸先輩の皆様方には大変お世話になり、有り難う御座いました。社友会入会に当たり、今後とも宜しくお願い致します。



- ① 2860
- ② 福島 泰正
- ③ 昭和 19年 1月 13日

本年一月十三日に定年退職しました。入社以来殆どの期間VTRの商品開発にたづさわることが出来た事は大きな喜びでした。今後は会社生活で得た事を心の支えとして、人生を前向きに過ごして行きたいと考えています。今後共宜しくお願い致します。



- ① 2875
- ② 藤川 皓司
- ③ 昭和 19年 1月 25日

一月二十五日に定年退職致しました。在職中は諸先輩の皆様方には大変お世話になり有り難う御座いました。今後は社友会の一員として入会させて頂きましたのでご指導宜しくお願い致します。



- ① 2868
- ② 相馬 健一
- ③ 昭和 19年 1月 25日

入社以来三十五年余の永きにわたり、公私共に暖かいご指導とご厚情を賜り心から感謝の念が絶えません。今後は社友会に入会させて頂きますので、宜しくお願い致します。



- ① 2942
- ② 山田 豊
- ③ 昭和 19年 3月 24日

○四年三月二十四日をもって無事定年退職することが出来ました。在職中は諸先輩よりご指導頂きましたことに対し感謝いたします。今後は第二の人生に向け、心身ともにリフレッシュし有意義な生活を楽しみたいと考えております。宜しくお願い致します。



- ① 2892
- ② 大川 利水
- ③ 昭和 19年 2月 8日

二月八日付で定年退職を迎え、社友会に入会させて頂きました。宜しくお願い致します。少し、自宅で楽園を楽しみながら、好きなカラオケ・庭の手入れ等をしながら日々を送りたいと思っています。

今回社友会に入会させて頂きました、佐武です。宜しくお願いたします。早速、北海道旅行に行ってきました。しばらく、ぶらぶら暮らす予定です。



① 2943
② 佐武久司
③昭和19年3月28日

在職中は先輩の皆様にご指導を頂きました、お陰様で無事定年退職する事が出来、感謝致しております。これからも社友会の一員としてどうぞ宜しくお願い致します。



① 2884
② 溝口 清
③昭和19年1月29日

一月三十日付で無事定年退職する事が出来ました。今後は社友会の一員として、同席させて頂きますので、宜しくお願致します。



① 2874
② 宮下喜代司
③昭和19年1月30日

栃木支部 物故会員

[ご冥福をお祈り申し上げます。]

会員番号	御名前	ご 逝 去 年 月 日	享 年
334	松本 元一 様	平成15年 4月11日	76歳
324	北沢 準一 様	平成15年 9月23日	78歳
1727	岩田 節雄 様	平成16年 3月 1日	63歳

編集後記

● 『人は、パンのみにて、生きるにあらず』と云う言葉がありますが、人間は絶えず知的活動が欠かせません。最近「脳科学」の分野が、マスコミにおいて、頻繁に取り上げられ、その分野の専門家である養老孟司先生の『バカの壁』を始め、先生が起稿され、出版される総ての著書が、大ヒットするといった状況になっています。

▲ 東大での解剖学教授を定年退職後、北里大学で二度目のお勤めをされているわけですが、六十歳を超えてから時代の寵児に成ると云ったことは、正に定年退職者の鑑と申せましょう。

★ 私たち社友会員も、大いに脳を鍛えたいものですが、その方法として、社友会報への、ご投稿を積極的に行われることを、是非お勧め致します。

◆ 何かテーマを決めて、その問題について考え、文書にしてこれを、社友会報に投稿し、仲間の評価を受ける、と云うことは、脳を活性化する上では、大変有効な手段であり、『ぼけ防止』にも大いに役立つと考えます。

■ 以上のような観点から、次の【社友会報十五号】には、多数の会員の方々よりのご投稿をお待ちしております。

▼ 尚、「原稿の募集要項」につきましては、来月の会員への郵送物と共に、送付させて頂いていただきます。

◆ 是非、多数の会員からのご投稿をお待ちしています。

(編集子一同)



二〇〇四年

新年頭祈願祭に参列

年頭に当たり一月五日事業本部恒例の祈願祭が実施されました。

掃き清められた玉砂利に打ち水がうたれ神前は静かに参拝の式典を待ち受けて居ります。

奥田本部長を始め参列者一同、清水で身を清め神前に整列、祭主の祝詞奏上の後、本部長が玉串を奉納され続

いて労組執行委員長、社友会支部長の順に祭主より玉串を受け神前に進み熊鷹稲荷大明

神のご加護の元に、会社の更なる発展と、社友会皆様方のご健勝と、ご多幸を祈願申し上げました。

式典が終了し参拝者それぞれが今年も頑張るぞと笑顔で挨拶を交わし散会致しました。



新春賀詞交換会開催

平成16年2月1日～2日(1泊)於、鬼怒川観光ホテル別館

参加者は、会員49名と来賓3名(小林総務部長、田中書記長、中村市議)



何の相談?



話題が一杯



昔話に花が咲く

会員相互の親睦を深める歓談風景